

心をよつめる。

第30号

北九州市内・近郊の寺院の僧侶にお言葉をいただくコーナーです。老後を心豊かに生きるためのヒントとなりますように・・・。



柔らかい心

皆様、こんにちは。円通寺の副住職をしております、林慧照と申します。円通寺は北九州市小倉北区の足立山麓にあり、境内の裏には豊かな自然が広がっています。隣には幼稚園を経営しており、子どもたちの楽しそうな声がいつも聞こえてきます。

突然ですが皆様は体のストレッチや体操などをされていますでしょうか。私もやらないといけないと思いつつ、つい無理をして肩や腰を痛めてしまいます。体の柔軟さは大事ですね。体が柔らかいと疲れにくいし、怪我もしにくいです。

体の柔軟さと同じくらい大切なのが、心の柔らかさだと思います。これは幼稚園に通うお子さん方から学びました。小さなお子さんは、本当に自由

な発想ができますね。面白いエピソードがたくさんありますが、印象深いものを二つご紹介しましょう。

一つ目は、お地藏さんへのお供えです。時々、境内のお地藏さんに不思議なお供え物がしてあります。それは砂利と草です。普通ですとお茶や果物、あるいはお養銭などでしょう。そのような先入観がありますので、砂利や草が置かれていると「子どものいたずらだなあ」と思ってしまう。

しかしよく考えてみますと、砂利や草だって立派なお供えです。お地藏さんに何か差し上げたいという純粋な気持ち、そして周りにある物を手に取ってお供えする自由さ、素晴らしいと思います。私などは「こうでなければならぬ」という考えにとらわれて、な



円通寺 副住職
林 慧照 さん

かなか子どもにはいきません。

二つ目のエピソードもとても興味深いです。境内の裏には、お墓がいくつもあります。そこは幼稚園と駐車場の間です。車でお迎えに来られた方はお墓を通って帰ることになります。ある日、とあるお子さんがお墓の前で合掌して頭を下げていました。なんとひとつだけではなくて、全部のお墓にお参りしているのです。駐車場の入り口で待っていたお母さんは「教えたわけではないんですけど、この子はいつもお参りして帰るんですよ」と仰っていました。

普通ならばお参りするのは、自分に関係のあるお墓だけ、それもご命日やお盆の時くらいでしょうか。一方で、このお子さんはそんな枠にとらわれ



黄檗宗
円通寺

北九州市小倉北区妙見町 1-30
093-921-4004

ず、純粋な気持ちで手を合わせてお参りしていたのでしょうか。

子どもたちの微笑ましいエピソード、いかがでしたでしょうか。この自由な心を「柔軟心（にゅうなんしん）」といいます。清らかな水のような心です。逆に心が固まっていると、氷と氷で衝突してしまいます。私たち大人も、子どものような柔らかい心でありたいものです。

合掌